

平成 28 年度 第 2 回 稲城市海外姉妹都市検討市民会議
議事録 【要点記録】

【開催日時】平成 28 年 10 月 26 日（水） 午後 7 時から 8 時 10 分

【会 場】地域振興プラザ 2 階 商工会会議室

【出席者】■委員；出席者 13 人

- ・ 稲城市自治会連合会（榎本 勝美氏）
- ・ 稲城市商工会（奈良部 義彦氏）
- ・ 稲城市消防団（城所 達也氏）
- ・ 稲城市体育協会（中家 敬士氏）
- ・ 稲城市教育委員会（城所 正彦氏）
- ・ 教育関係及び稲城市三曲協会（栗井 洋子氏）
- ・ 稲城市芸術文化団体連合会（安東 道正氏）
- ・ 稲城市立学校 PTA 連合会（高橋 やよい氏）
- ・ 稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会（石橋 良生氏）
- ・ 稲城国際交流の会（藤田 佑二氏）
- ・ 国際ソロプチミスト稲城（砂塚 有子氏）
- ・ 公募市民（原 忠男氏）
- ・ 公募市民（小山 良夫氏）

<欠席>稲城市農業委員会（松本 一宏氏）、東京稲城ロータリークラブ（川島 保之氏）、
稲城青年会議所（石井 秀樹氏）、NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ
（角田 享氏）

■行政

- ・ 事務局 4 人（企画部長（武藤 路弘）、企画政策課長（柴田 光洋）、
企画政策課計画調整担当係長（井田 聡）、企画政策課主事（新津 伸偉））

【開会】

委員 長：本日はお忙しい中、また、夜分遅くにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、平成 28 年度第 2 回稲城市海外姉妹都市検討市民会議を開催いたします。

まず、事務局より、配布資料の確認をお願いします。

井田 係 長：まず、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。稲城青年会議所の石井委員、東京稲城ロータリークラブの川島委員、NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎの角田委員、稲城市農業委員会の松本委員からご欠席のご連絡をいただいております。

以上、ご欠席が 4 名で、ご出席いただいている委員の方は 13 名になりますので、稲城市海外姉妹都市検討市民会議設置要綱の規定により、過半数の委員の出席がございますので、この会が成立していることをご報告いたします。

それでは、改めまして、配布資料の確認をいたします。本日お手元に配布しておりますものは、5点になります。

①座席表

②次第

③資料1：平成28年度 稲城市海外姉妹都市検討市民会議 名簿

④資料2：平成28年度稲城市海外姉妹都市検討市民会議 作業部会 報告書

⑤参考資料：平成27年度稲城市海外姉妹都市提携検討市民会議「主な意見の分類」

こちらは、傍聴されている方がいらした際も同じ資料をお配りします。過不足等はございませんでしょうか。

【議題1】稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会での審議の結果について

委員長：それでは、議題1「稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会での審議の結果について」、事務局から説明をお願いします。

柴田課長：それでは、議題1「稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会での審議の結果について」ご説明いたします。

6月30日に開催させていただきました第1回目の市民会議において、本年度の市民会議での検討方法についてご議論をいただきました。その中で、全体の会議だと意見の收拾がつかないので、少人数の部会で意見をまとめ、それを全体会議へ報告する形でやると良いということで、候補地及び交流事業等について集中的に審議をするための『作業部会』を設置するご決定をいただきました。

作業部会のメンバーにつきましては、市民会議の委員より、選出分野ごとに選出することとし、第1回目の会議の席で、選出分野ごとにグループ分けをさせていただき、そこから選んでいただきました。

これまでに、この作業部会を4回開催し、候補地や交流事業について集中審議をしていただきましたので、今回、その結果についてご報告いたします。

[資料2『平成28年度稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会 報告書』に基づき説明]

以上が作業部会で集中的にご審議いただきました結果となります。大きくは、『候補地』としてはフォスターシティ市とすること、『交流事業』としては、先方の希望する教育交流、スポーツ交流をまず主たる交流として考えること、『交流事業の実施体制』については、(仮)交流協会を立ち上げること、という3つの部分になります。

市民会議としての結論につきましては、今後、議題の2で『候補地』についてはご議論をいただき、『交流事業』や『交流事業の実施体制』につきましては、次回、ご議論いただきたいと思っております。以上が作業部会のご報告となります。

委員長：ただ今、事務局より説明がありました。何かご質問のある方は挙手願います。

<挙手なし>

委員長：よろしいでしょうか。

<「はい」というご発言あり>

【議題2】候補地について

委員長：続きまして、議題2「候補地について」、事務局から説明をお願いします。

柴田課長：議題1でご説明しましたとおり、作業部会では、海外姉妹都市の候補地をフォスターシティ市と決定いたしました。この結果を受けて、市民会議としてどう判断するか、ご審議いただきたいと存じます。

委員長：説明が終わりました。それでは、市民会議として、フォスターシティ市を候補地とするかどうか、ご意見をいただければと思います。何かご意見のある方は挙手願います。

委員：作業部会の委員として4回の部会で色々議論に参加させていただき、大変良い経験をさせていただきました。その中で、候補に挙がった都市は21都市もあったのですが、第3回の作業部会でかなり急速に絞り込みをやられて、一挙に3都市に絞られました。本来であれば、それぞれ都市の内容について、皆様でよくイメージしながら選んで行く必要があったのではないかと思います。これは本市民会議でも同じだと思いますので、補足的に21都市全部ではございませんが、残っている3つの候補、フォスターシティ市、イギリスのスウォンジー市、オーストラリアのケアンズ市について、動画ではありませんが、映像を用意しました。こんなシーンがある、こういう感じの都市だということを、皆様に一緒に見ていただき、シェアができて、それから議論をした方が、イメージもはっきりして良いのではないかと思います。10分ほどお時間をいただき、映像を皆様と一緒に見ていきたいと思います。

委員長：皆様、どうでしょうか。

<「いいと思います。」というご発言あり>

委員長：それでは、お願いします。

委員：候補に挙がっております、フォスターシティ市、スウォンジー市、ケアンズ市について、収集できる範囲で映像等を準備しましたのでご覧いただきたいと思います。

[委員が用意したパワーポイントにより3都市について説明]

(1) フォスターシティ市

- ・位置はアメリカ合衆国の西海岸のカリフォルニア州。
- ・カリフォルニア州は、サンフランシスコが真ん中より少し北側にあり、サンフランシスコ湾がある。その南方はサンノゼという都市でシリコンバレーがある。
- ・サンフランシスコ湾の北の方がサンフランシスコで、サンノゼとサンフランシスコのちょうど中間あたりがフォスターシティ市。
- ・フォスターシティ市から、サンフランシスコ湾の対岸に橋が架かっている。
- ・シリコンバレーのIT企業の社員や日系企業の駐在員などが居住。
- ・1971年設立の高級住宅ニュータウン。
- ・人口は約3万人で、稲城市のニュータウンの向陽台と長峰、若葉台を合わせた人口が2万5千人くらいなのでそれより少し大きいくらいのイメージ。
- ・サンフランシスコ湾を埋め立てて、水を引き込んだ人工ラグーンがあり、大変居住性

が高い。

- ・陸地面積が 9.7 平方キロメートルで、稲城市の半分くらいの小さい都市。
- ・フォスターシティ市はサンマテオ郡の一部で、サンマテオ郡の中にはこのような市が 35 あり、その中でも小さい部類。
- ・人工運河、ラグーンが町の中に縦横に入っており、親水都市となっている。
- ・家の前に水があるというコンセプトで作られている都市。
- ・メトロセンターと言うシンボルタワーには、ショッピングセンターとオフィスビルが入っている。その周辺には様々な IT 企業の本部ビルがある。
- ・ウォーターフロントに面した住宅街には、個別住宅も集合住宅もあり、総じてかなり高級な住宅になっている。
- ・一戸建ての家は、かなり大きく、金額も一戸 1 億円以上の高級住宅であり、高収入の方々がたくさん住んでいる。
- ・集合住宅も、高級な集合住宅であり、我々が考えるものとは、かなりイメージとは変わってくる。
- ・クラウンプラザホテルという大きなホテルがあり、外来の客が泊まる。
- ・水辺のプロムナードは歩いて散歩ができる。
- ・公園には、水上に突き出した舞台のような構造物もある。
- ・ペットの運動場や、湾に面したビーチ、図書館、スケートボード場など、その他色々スポーツに関連した施設も整えられている。
- ・市民ボランティアが非常に活発に活動している。
- ・サッカーグラウンドも 6 つ 7 つあり、ベースボールチーム、カヌーのレース、水泳ができるようなスイミングプールなどもある。
- ・色々なフェスティバルが特に夏の間にはよくある。
- ・市の警察官も配している。

(2) スウォンジー市

- ・イギリスのユナイテッドキングダムの中には 4 つの国があり、スコットランド、イングランド、ウェールズ、北アイルランドの 4 つで UK となる。
- ・特にスコットランド、ウェールズ、イングランドの 3 つでグレートブリテンと言う。
- ・スコットランドは常にイギリスから独立したがっているが、ウェールズはイングランドと一体になっているようなところである。
- ・ウェールズの南の端に突き出している半島の付け根のところがスウォンジー市。
- ・ロンドンの西 250 キロメートルで、ロンドンからインターシティーという高速列車で 3 時間ほどになる。
- ・メキシコ暖流が流れており冬も比較的温暖。
- ・スウォンジー大学やスウォンジー城がある。
- ・ラグビーやサッカーが盛ん。
- ・人口が約 22 万人で、将来的に稲城市も 10 万人になろうとしているので、その 2 倍くらいである。

- ・ほとんど人が住んでいない自然の地域もあり、市域はそこまで広くはない。
- ・海岸に面してマリナーがある。
- ・市の中心部は、昔の城が残っていて、その横に近代的なビルが建っているという、とてもイギリス的なところで、古いものと新しいものが同居している。
- ・有名な国際センターがある。
- ・イギリスの朝食は、ベイクドビーンズ、トマト、ソーセージ、ハッシュドポテト、目玉焼きというのが一般的で、学校でも出される。
- ・一般的な街並みとして、300年、400年残っている古い石造りを未だに使っているところもある。
- ・郊外にも城跡がたくさんあり、ローマ時代から始まり、ケルト族の城などがある。
- ・海岸線が非常に美しく、小さな入り江などもあり、野山の散策などでもできる。
- ・たくさんのイングランドの人達が老後に移り住んできて生活を楽しんでいる。
- ・イギリスの小学校の教育制度は、厳格な制度となっている。
- ・市民の多くはサッカーをやったりしており、また、ユニフォームを良く着ている。自由な感じはアメリカであり、イギリスはどちらかというと厳格な感じで、皆がユニフォームを素直に着ている。
- ・中学校は、古い建物を使ったものから、比較的新しい中高一体となった学校などもあり、生徒はブラスバンドや合唱をやったりしており、ビートルズの発祥の元になっているということが感じられる。

(3) ケアンズ市

- ・ケアンズ市は、シドニーとかメルボルンのようなオーストラリアの南や東の方ではなく、北東部にクイーンズランド州というところに位置する。
- ・グレートバリアリーフの北の一番端。
- ・市街は碁盤の目のように整備されている。
- ・モンスーン気候でかなり湿潤。
- ・2つの世界遺産がある。
- ・人口が15万人弱で交流相手としても良いスケールだと思う。
- ・年間降雨は東京（1,500mm）より少し多いくらい。
- ・平地がかなりある一方、緑がたくさんある山岳地もある。
- ・海に近い所は港と夜景が見られる。
- ・山の世界遺産と、海の世界遺産とに挟まれた非常に恵まれた自然環境。
- ・約150年の歴史を持っているため、かなり古い建物もあり、落ち着いた街並み。
- ・山の方は、熊がいる自然公園もある。
- ・市街にはショッピングセンターや色々なマーケットがあり、スイーツショップや花屋などもある。
- ・クリスマスは夏。
- ・小学校は、日本と比べるとグラウンドがとても広く、芝生になっている。
- ・日本の学生が、小さい頃にケアンズ市に行き、英語を勉強するということがかなり頻

繁に行われており、日本でも親しまれている都市である。

- ・中学校では、栃木県小山市の訪問学生を始め、それ以外にもオーケストラなどの交流もやっている。
- ・中学校では、色々な人種が混ざっていて、アジア人もかなりたくさんいるという事で、国際的な感じがある。
- ・日本語や日本に対する感覚もかなり紳士的である。

以上になりますが、こういうイメージを参考にしながらお話を次に進めていただきたいと思います。

委員 長：ありがとうございました。オーストラリアは移民の方が90%でしたでしょうか。

委員：白人の人が多いですが、色々な人種が入って来ています。

委員 長：それでは、作業部会の皆様にご結論いただいたフォスターシティ市を候補地とするかどうか、この場で決めて行きたいと思います。ご意見ございますでしょうか。

委員：フォスターシティ市も候補として良いのですが、今の2つの都市、スウォンジー市、ケアンズ市についても、どちらか1つを追加して、2箇所というのはどうでしょうか。

委員 長：2箇所と姉妹都市を結ぶということですか。今までなかった話です。

委員：交流の費用の関係では、例えば、個人負担、行政の補助などありますが、お金をあまりかけないで互いに交流をやったほうが良いということで、最近では、個人負担を少し多くしていく例が多く、活動自体が最初からそんなに活発になるわけではありません。徐々に交流を進めて行くという視点もあるのです。

フォスターシティ市については、向こうの方からたまたま話があり、一歩前に進んでいるということは分かるのですが、例えば、2つの都市についても、稲城市から「どうですか」という形でオファーをすれば、向こうとしての条件などはあるでしょうが、たぶん了承すると思います。逆に、向こうが嫌と言うのであれば、それはそれで仕方ないのですけど。

委員 長：先ほどの作業部会の報告のご説明を聞いた中では、そういう話はなかったと思います。他にご意見ございますか。

委員：ただいまの補足として、作業部会に関する事務局の説明に補足的な話をさせていただきます。2つの他の候補地についても、短い時間で、なるべくフォスターシティ市と同じくらいに成熟した関係にまで持って行くように、相手方とやり取りを始めていました。特にケアンズ市については、向こうの姉妹都市のチーフをやっている方と、メールのやり取りを何度もしているのですが、最終的には、稲城市側からのある程度正式な「関心がある」というものを渡さない限り、「もし」というような話では話を進めるにも限界があるということになりました。それを事務局の方にご報告しましたが、事務局の判断としては、「フォスターシティ市に行って、かなり前向きな話が出ています。それを置いておいて、また別のラブレターを他のところに出すわけにはいかない」ということになったため、ケアンズ市との話はそこでストップしているわけです。これを、もし続ければ、委員が言われたように、次の段階へ進んで行く可能性も大いにあると思います。

従いまして、どちらかという、テクニカルな部分でストップしているということです。

もちろん、姉妹都市というのは、そんなに簡単に結べるものではありませんから、色々と環境を育てて行かなければいけないのですが、最初のスタートポイントとなるレターが出せていないというところで、スウォンジー市もケアンズ市もストップとなり、次点になっているということをご理解いただきたいと思います。

委員 長：その辺のところを踏まえて、今、フォスターシティ市ということで、作業部会で挙げていただいています。作業部会でだいぶご苦勞をなさって挙げていただいたものを、この市民会議の中で、皆様方にご承認をいただきたいと思います。フォスターシティ市を候補地とすることにご承認いただける方、挙手をお願いします。

<挙手 10 人（※委員長を除く）>

委員 長：それでは承認ということでよろしいですか。

<「はい」というご発言多数あり>

委員 長：ありがとうございます。事務局からフォスターシティ市について補足説明はありますか。

武藤 部長：ここでフォスターシティ市を進めていただけるというご意見が出ましたので、我々はそれを承りたいと思います。

委員 長：それでは、市民会議としては、海外姉妹都市の候補地をフォスターシティ市に絞って、現地視察等を進めることとします。

【議題 3】 現地視察について

委員 長：続きまして、議題 3 「現地視察について」、事務局から説明をお願いします。

柴田 課長：現地視察の実施につきましては、作業部会での集中審議と同様、6月30日開催の第1回市民会議において決定されております。平成27年度中4回の市民会議の中でいただいた、「場所が絞られてくれば、1回は視察に行かないといけないので、それは考慮しておくことが必要。」「場所を決める人たちが、誰も行ったことがない所に決める訳にもいかない」とのご意見を反映したものでございます。

こちらの現地視察のスケジュールにつきましては、来年度の事業費を予算計上することを考慮しますと、遅くとも1月初旬には実施する必要がございます。その結果を受け、1月中旬には、市民会議としての最終的な結論を『提言』していただくような形になってまいります。

現地視察には、2泊4日ないし3泊5日程度になろうかと思っております。委員の皆さんを代表して3人ないし4人の方に行っていただき、事務局1名が随行いたします。フォスターシティ市の現地の状況を実際に見ていただき、また、フォスターシティ市の方と意見交換をしていただきまして、姉妹都市として相応しいのか、交流事業としては、どのようなことができるのかなどをご確認いただきたいと考えています。

また、1月初旬までに現地視察をしていただくためには、日程調整や、パスポートの準備、航空券の手配、先方との調整など、事前準備のために、一定期間を要するため、できれば、本日、視察に行かれる3人ないし4人の方をお決めいただきたいと考えています。

委員 長：視察のメンバーについて説明がありました。1月初旬に2泊4日ないし3泊5日ということですので、スケジュールの調整がつく方であることも必要ですが、細かい日程は決まっているのでしょうか。

柴田課長：候補としましては、1月9日（月：祝日：成人式）から、14日（土）までの間で、2泊4日ないし3泊5日という日程になろうかと想定しておりますが、先方の都合もありますので、確定的なものは現時点では、ございません。

現実的には、日本はお正月が大変大事であります、向こうはクリスマスの部分で1月に入ってからのの方が先方との調整はつきやすいというところがございます。

委員長：視察のメンバーについては、何か条件のようなものはあるのですか。

柴田課長：現地視察は、市民会議を代表して実施するものになります。また、人数に限りもございません。最終的な決定を前に、様々な確認や意見交換を行い、将来的な両都市の提携の方向性などが見えてくれば非常に有益なものになると考えております。そういった点を踏まえますと、市民会議や作業部会を代表するお立場の方、フォスターシティ市が希望する交流事業である教育やスポーツ分野で具体的に話のできる方、また今後の姉妹都市交流に主体的に関わって行こうとお考えの方にメンバーに入っていただくことが望ましいものと考えております。

委員長：事務局から説明がありました。市民会議の役職者という話ですと、私か、副委員長、作業部会の部会長になろうかと思えます。私は年始の色々忙しい時期なので、よっぽど上手く合わなければ難しいです。副委員長、部会長はいかがでしょうか。

委員：自分は、歳ですし、若い方に譲りたいです。

副委員長：私は行けます。

委員長：事務局から、交流事業の関係で教育やスポーツ分野の方という話と、今後の姉妹都市交流に主体的に関わって行こうとお考えの方という話がありましたが、「私が参加しよう」という立候補をいただける方はいらっしゃいますでしょうか。または、「この方が良いのではないか」という、ご推薦でもかまいません。自薦他薦を問いませんので、いかがでしょうか。

委員：交流の取っ掛かりというのは青少年だと思うので、できたら教育委員の城所委員を推薦したいと思います。

委員：家庭の事情で家をあげられません。申し訳ありません。

委員長：どなたかご推薦や立候補はございませんでしょうか。

<立候補・推薦なし>

委員長：今日決めるのも難しいと思えます。事務局いかがいたしましょう。

柴田課長：本日急用でご欠席されている委員のご意向も確認をさせていただく必要もあると思えます。また、視察メンバーの分野のバランスなども考える必要があるかと思えますので、後日、委員長にご相談をさせていただきながら、事務局の方で調整をさせていただければと考えているのですが、いかがでしょうか。

武藤部長：個別に皆様にご意向を確認させていただく方向で、お願いしたいと思います。

委員長：今の意見でいかがですか。よろしいですね。

<「はい」というご発言多数あり>

【議題4】その他

委員長：それでは、議題4「その他」について、事務局より説明をお願いします。

井田係長：次回、第3回の市民会議の日程調整をさせていただきます。第3回の市民会議は11月下旬から12月上旬での開催を考えています。

<日程調整>

それでは、12月1日（木）夜7時からの開催として予定をさせていただきます。正式な通知は、後日、改めてお送りさせていただきます。なお、ご都合がつかなくなった場合などは、事務局まで、お電話でご連絡をいただければと思います。よろしく願いいたします。

委員長：最後に何かご連絡やご質問のある方はいらっしゃいますか。

<質問等なし>

委員長：それでは、これで第2回稲城市海外姉妹都市検討市民会議を終了いたします。